

第15回別海町新型コロナウイルス感染症対策庁内連絡会議 会議要旨

日 時：令和3年4月2日（金）午前10時30分～午前11時30分

場 所：庁議室

参加者：副町長、教育長、総務部長、福祉部長、産業振興部長、建設水道部長、教育部長、議会事務局長
会計管理者、農業委員会事務局長、監査委員事務局長、病院事務長、総務部次長
別海消防署長（オブザーバー）
保健課長（事務局）、防災交通課長（事務局）、防災交通担当主査（事務局） 計17名

1 開 会

○副町長あいさつ

コロナの状況が刻々と変化する中、共通認識をもってしっかりと対応してもらいたい。

2 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症の状況・対策について（国、道、管内、町）【資料1-1】【参考資料】

● 北海道における検査の状況等／現時点における北海道のステージ【資料1-2】

● 新型コロナウイルス感染症発生状況【資料1-3】

● 町の実施事業・繰越事業一覧【資料1-4】

[総務部長]

・資料読み上げにより説明あり。

[副町長]

・資料に記載のある「感染リスクを回避できない場合」とはどのようなときか。

[総務部長]

・例えば、感染経路が不明な感染者が多くなった場合など、様々な場合が想定されるが明確な決まりはないため、各自の判断になる。

※その他の例として、北海道から「新北海道スタイルを実践していない施設等の利用」「密閉された屋内において人との距離が十分に保たれない長時間の会合」「飲食の場面（同居者のみの場合を除く）においては、大人数、例えば5人以上の集まり」「マスクをしない大声での会話」「2時間を超えるような長時間の飲食」などがあげられている。

[副町長]

・再確認となるが、北海道から「業種別ガイドラインや新北海道スタイルの実践などを宣言している店舗を利用する」「飲食の際には、黙食を実践する（食事は4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用）」などが要請されているということによいか。

[総務部長]

・そのとおりである。

[副町長]

・町では、利用者が安心できるよう、また、町内飲食店などが空気清浄機やパーティションなどの対策を積極的に講じることができるよう、30万円を限度として、札幌市以上の飛沫感染等対策備品購入の補助を実施している。

・事業者が懸命に努力する中、新北海道スタイルを実践する店舗については、利用者が基本的な対策を行いながら、北海道の要請内容も踏まえた上で、経済を支えるために積極的に活用してほしいと考える。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する町からのメッセージについて [チラシ]

(感染者情報の公表のルール) 【資料2】

[総務部長]

- ・町民の方たちに町長メッセージを月1回以上発出することで対応している。広報べつかい4月号にて、まん延防止等重点措置や基本行動の徹底、感染者情報の公表の考え方などに関する内容にて発出予定。

(3) 新型コロナウイルスのワクチンの接種について [チラシ] 【資料3】

[福祉部長]

- ・ワクチンの接種について、先般、広報べつかい3月号で接種券の発送及び接種実施の予定時期などをお知らせしていたが、ワクチンの供給量と時期が確定していないことから、予定を変更している。
- ・資料(チラシ)に記載のとおり、接種券発送予定時期を4月中旬以降、接種予定時期を5月以降として現在検討しており、広報べつかい4月号で改めて町民の方々に周知する。
- ・接種会場について、供給量が安定するまでは、別海病院での接種を予定している。
- ・ワクチンについては、4/26に国から北海道に対し179箱が供給され、その後、北海道から各自治体に対し1箱(約500人分、975回分)は届くであろうと言われている。これが最も早い供給時期である。
- ・国からは「6月末までに全ての高齢者が2回接種できる量のワクチンを各自治体に供給する」と示されているが、供給時期や供給量についてはまだ示されていない。

[保健課長]

- ・町主体の16歳以上の町民へのワクチン接種のうち、65歳以上の優先接種について、まず高齢者施設等の入所者(約230人)への1回目の接種を優先し、施設への巡回接種を行う予定。
- ・また、施設従事する職員(約200人)について、施設と協議の上、特例的に接種することが可能だが、病院と協議したところ、一度に接種することは業務に支障をきたすことが考えられる。このため、病院での個別接種を基本に、今後、施設及び病院と調整を進めている。
- ・接種時期について、5月連休明けから、まずは高齢者施設への巡回接種を実施することで、病院と最終調整している。
- ・4月中旬を目途に、日本郵政グループへの委託により、接種受付や相談窓口となるコールセンターを開設したいと考えており、まずは相談業務を開始し、ワクチンの供給時期や供給量が確定した時点で、対応可能な予約数を受け付けていく流れとしたい。
- ・これらの内容を含め、全体的な接種計画の作成を進めているので、完成次第、改めて示したい。

[副町長]

- ・4/26以降に供給されるワクチン(各自治体1箱、約500人分、975回分)が、まずは高齢者施設等の入所者(約230人)に優先接種されるということでよいか。

[福祉部長]

- ・そのとおりである。

[副町長]

- ・残りのワクチン(約270人分)は、保存期限もある中で、施設従事する職員(約200人)に接種する。それでもまだワクチン(約70人分)があるが、残り数量を考慮し、現時点では、集団接種ではなく、一般の65歳以上の方に対する病院での個別接種を考えているということによいか。

[福祉部長]

- ・そのとおりである。残りのワクチン（約70人分）について、どのような方を優先していくかということも今後検討していく。

[保健課長]

- ・65歳以上の方に接種していくが、国からワクチンの供給時期や供給量が明確に示されない中、現在、65歳以上の年齢区分をより細かく分けて（例えば5歳刻みとして）、より高齢の方から接種できないか作業を進めているところである。
- ・5月以降の流れについて、北海道から各自治体にどの程度ワクチンが供給されるか不明であることから、順次対応していくこととなる。

[副町長]

- ・町全体での接種予定人数を改めて共有願いたい。

[保健課長]

- ・12,300人（24,600回）である。

[副町長]

- ・これら一連の流れと、病院従事者へのワクチン接種は別であるということによいか。

[病院事務長]

- ・そのとおりである。

[副町長]

- ・5月連休明けに医療従事者が高齢者施設に巡回接種をするまで、医療従事者へのワクチン接種を完了させるなど、各関係部局間で情報共有をして、細部まで調整作業を進めてほしい。

(4) 各部からの連絡事項等

- ・特になし

3 その他

[教育長]

- ・インスリン用注射器であれば効率が良いという話もあるようだが、どのような注射器が入ってくる予定なのか。

[福祉部長]

- ・注射器は、インスリン用ではなく、5回分接種可能なものが入ってくる予定である。

[副町長]

- ・ワクチン全体の流れが明確ではない中で作業を進めていかなければならないが、優先接種の対象である医療従事者の中に、病院に出入りする業者や消防職員なども含まれていることなど、様々な要因を考慮し進めていただきたい。

4 閉会

以上